

【前にも言いましたよね】……鈴木

今年もコロナ禍で、16日から確定申告（申告期限は4/15に延長）が始まります。



当事務所でも、いろいろな申告の事案をお受けしますが、その時の会話とか、普段の会話で同じ質問をされることがあります。その時に、つい言ってしまう言葉があります「前にも言いましたよね…」という言葉です。この言葉は、前にも言ったよ、同じことを言わせないでと、相手を見下したニュアンスだけでなく、不快の印象だけが伝わってしまいます。

この言葉を言われた方の気持ちはどうなのか。聞きたいことがあっても、同じ質問をすれば、また怒られ、返答しづらくなるのです。言った側は悪気がないのですが、人間関係にひびを入れる言葉になってしまうと思います。

では、前にも言ったことを伝えるにはどうすれば良いのかというと、また繰り返し言えばいいのです。以前に話したことでも、もう一度同じことを言います。2回でも、3回でも言うのです。繰り返し話すのが面倒と思うのではなく、自分にとっても再確認の機会になると考えましょう。何度も話しているうちに、相手を傷つけることなく「以前にも言ったと思いましたが…」というニュアンスを伝えることができるのです。

でも我が家では、この言葉を何度でも使っています。気を付けよう意識しても、ついイライラしているとますます語気を強めて言ってしまう。妻も同じ調子なのです。言ってしまった直後は反省するのですが、また何かある度につき、言ってしまうのです。

これからは気を付けることとして、「前にも言いましたよね…NG」の張り紙でもして、お互いに意識したいと思います。

では皆様、県内では緊急事態宣言の渦中ですが、どうぞご自愛ください。

【人に対して】……小倉

先日、誕生日を迎え、何も成長しないただ歳だけをとるのではなく、一年分昨年より成長したいと思った所があります。正直、日々



の日常生活動作だけでも体力的に落ちたことを感じ、家事面でも全く出来たことが出来なくなりへこむこともあります。それ以上に最近の内面磨きをすごく感じます。

よく「気配り」「目配り」「心配り」と三つを言いますが、一見どれも、気を遣う、手を抜かない、配慮や注意すると似てますが、気配り、目配りは自分中心で、その先に心配りがあるように感じます。ストレスの大半は人と言われるように、心配りは、他者が感じるもので、これがうまくいくと人間関係が良好に保てると思います。お願いするときだけ一生懸命な人や、自分では気づかないが人を見下した話し方、最近気になることが多々あります。

同じ好意をしても相手からの言動は、さまざま、「ありがとう」や労いの言葉をかけられるとまたしあげようと思うのですがそれにより、もういいやって気持ちにもさせられます。言葉と心が一致してないのもすぐにわかります。相手の立場に立ち、この心配りを大切にし、人には感謝して円滑なコミュニケーションを大切に楽しく過ごしていきたいです。

【想像力】……手塚

新型コロナウイルスは発生から1年を経過しても今のところ収まる気配は見えず中小企業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

そこで今月は経営のお役に立てればと思い想像力の話をさせていただきます。

・人間の想像力は無尽蔵

想像力とは、文字どおり新しいものを想像し生み出す力である。人間が持っている衝動や願望は、この想像力によって形づくられ、体系づけられて行動となる。人間は自分が想像するものは何でも生み出すことができる、とされている。

過去50年間、人間はこの想像力によって、これまでの人類の歴史がつくりあげてきた以上のものを発見し、自然の偉大な力を活用してきた。

例えば、空を飛行することについては、鳥などとうてい及びもつかない領域に到達してきた。あるいは、1億5000万キロ先の太陽をとらえて、その構成物質を分析し、重量までも測定した。



人間は交通機関のスピードを増加させ、時速960キロでも普通のスピードになっている。これらの基本となっているのが想像力なのである。

こうした人間が創り出すものの限界は、想像力をどこまで発展させ、それをどこまで実行することができるかにかかっている。人間の想像力の活用については、ごく初歩的な段階だと言わざるをえない。なぜなら、人間の想像力は限りない奥深さを持っているからである。

・想像力の二つのパターン

想像力には二つのパターンがある。一つは改良的な想像力であり、もう一つは独創的な想像力である。改良型想像力というのは、古い概念、アイデア、プラン、など組み合わせることによって、従来には見られなかった新しいものを創造する想像力のことである。いま私たちが使っているものの中には、このような品物が多い。

しかし、これはまったく新しいものを生み出すというのではなく、いままで自分に与えられた体験、教育、観察など基本にした組み合わせによって創られたものである。

人間は、この改良的想像力によって問題の解決ができないとき、もう一つのパターンの独創的想像力を働かせることになる。

独創的想像力というのは、人間の持つ創造的な能力によって、限界のある人間の心が「無限の知性」と交わりあうことによって発揮される想像力のことだ。独創的想像力は、おもに直感やインスピレーションによって湧き出てくるものである。基本的な、あるいは新しいアイデアが人間に伝達されるのは、この脳力を通してである。ある人が他の人の潜在意識と交信でき、利用できるのも、この独創的想像力の働きがあるからである。

想像力を発揮し、会社一丸となりコロナ不況を乗り越り更なる発展を目指してください。

【四季折々】……佐藤

「四季折々」という表現を誰もが一度は耳にし、さりげなく言葉にしていることでしょうか。恵まれたことに日本は、諸外国に比べて四季の変化に富んだ国です。

春には咲き誇る桜に見とれ、夏には暑さしのぎに



涼を求め、秋には山を彩る紅葉に感嘆し、冬は厳しい寒さに耐えて暖をとる……

このように日本ではそれぞれの季節ごとに過ごし方や見ることでできる景色が異なることが特徴だといえますね。

目を閉じてやさしい風に触れ……暖かさを感じ……寒さを感じ……今は夢の夢かな……

コロナウイルス感染予防の為、外出することも自粛され、とても淋しい。

日々を過ごし、頑張りましょうね、の言葉が今は日常になっていることがとても淋しいことですね。

【思いやり】……大和

コロナにより誰もが日常生活に不自由が生じたり、精神的にも不安定に陥ったりと、落ち着かない日々を過ごすようになってから一年になってしまいました。毎日のようにテレビ等で、コロナによって受けている影響についての街頭インタビューを見かけますが、その中で盲導犬の入店を断られたという現状があることを知りました。

スーパーや飲食店、施設など、今迄よく利用していたお店からも、犬から人に感染する恐れがあるからという理由で盲導犬の同伴を断られたという内容でした。

これまで犬から人に感染したという事例はないのに、それを聞いた時は何ともいえない寂しい気持ちになりました。

でもその一方で、医療従事者の方々への感謝の気持ちを込めた様々なサービスや、先日の大雪の影響で高速道路で立ち往生したドライバーの方々へ、地元企業が救援物資としてパンの寄付をするなど、様々なところで、自分達の専門分野を生かした、困っている人を思いやる心遣いの話を聞くと本当に心が温まります。

先が見えない今、段々余裕が無くなり、周囲に対して無関心になってしまっているように感じられます。でもこんな中だからこそ、人とのつながりを大切にし、相手を気遣う気持ちを持ち続けていられたらいいなと思いました。

私自身も、自分の出来る事で少しでも周りの人の心が軽くなってもらえるよう思いやりの気持ちをもっていきたいと思いました。

